参考資料３

# 日本語教育小委員会における検討内容と進め方について（案）（概要）

## Ⅰ　標準的なカリキュラム案の地域での普及・活用に向けて
## ～標準的なカリキュラム案の活用による地域の実情に応じた日本語教育の展開について～

### 検討内容とねらい

**日本語教育小委員会**
標準的なカリキュラム案の普及・活用に向けて，地域の実情に応じた日本語教育の展開方法について検討し，まとめる

⇒

**各地域**
地域の実情に応じた具体的な日本語教育のプログラムについて検討・実施

⇒

**ねらい**
地域の実情・学習者のニーズに合った日本語能力の習得

### 検討事項

**（1）　地域の実情に応じた具体的な日本語教育プログラムの編成の仕方について**

⇒基本的な考え方を整理し，図示する
（資料２「標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について（案）」）
（資料３「標準的なカリキュラム案における言語及び言語習得の考え方について（案）」）

⇒具体的な日本語教育プログラムの編成手順についてフローチャート等の図により示す
（資料４「具体的な日本語教育プログラムの作成手順（案）」）
（資料５「具体的な日本語教育プログラム例（記述様式案）」）

**（2）　指導方法について**

⇒指導方法についての基本的な考え方を整理し，図示する
（資料２「標準的なカリキュラム案の活用及び指導方法について（案）」）
⇒指導方法の例示として，活用例（実践例）の記述を充実させる
（資料６「教室活動の方法の例の具体的内容（記述様式案）」）

※平成22年11月末を目途に検討を行う。

# Ⅱ　教材例の作成について

## 作成内容とねらい

日本語教育小委員会

「Ⅰ標準的なカリキュラム案の地域での普及・活用に向けて～標準的なカリキュラム案の活用による地域の実情に応じた日本語教育の展開について～」を踏まえた教材例を作成

⇒

各地域

地域の実情に応じた日本語教育の教材例を作成

⇒

ねらい

地域の実情・学習者のニーズに合った日本語能力の習得

## 検討事項

**（1）　教材作成の考え方について**
⇒活用例（実践例）で示したような教室活動で用いる教材作成の考え方についてまとめる

**（2）各ページの構成・内容について**

**（3）分量について**

※平成23年3月末を目途に検討及び教材例の作成を行う。

# Ⅲ 「生活者としての外国人」の日本語能力の評価について

## 検討内容とねらい

日本語教育小委員会

標準的なカリキュラム案を基にした日本語能力の評価方法・評価基準を作成する。

⇒

各地域

学習者の日本語能力，必要な日本語教育の内容や支援策について把握することが可能に。

⇒

ねらい

- 日本語教育の目的・目標の達成
- 各地域における日本語教育の内容・方法・体制の改善へ

## ヒアリング及び検討事項

**（1） 日本語教育関係機関及び有識者からのヒアリング**
⇒能力評価に関する先行事例のまとめ

**（2） 評価の目的，評価者，評価結果の利用方法等について**
⇒「生活者としての外国人」に対する日本語能力の評価の大枠の策定

**（3） 測定内容について**

**（4） 測定方法について**

**（5） 評価基準について**

※平成23年1月末を目途に（1），（2）を行い，能力評価についての方向性を示す。平成23年6～7月を目途に取りまとめを行う。